（1990年７月13日
第三種郵便物認可）

自治労きょうと

毎月１日、15日発行

1／1
2024
第871号

発行所・自治労京都府本部・〒604－0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル２F
TEL.075－252－5932・FAX.075－231－4918　発行人・岡本哲也　編集人・森本尚秀
定価　一部10円　本紙の購読料は組合費に含まれています。

ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみなさんのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932　FAX.075-231-4918
E-mail : jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp
http : //www.jichiro-kyoto.gr.jp/

2024年 新年特集号

双龍図…建仁寺

2002年、建仁寺開創800年を記念して奉納された。鎌倉在住の日本画家・小泉淳作氏により、108畳の天井いっぱいに阿吽（あうん）の龍が描かれている。

龍は仏法を守護する存在として禅宗寺院の法堂の天井に描かれてきた。また「水を司る神」ともいわれ、建物を火災から護るという意味がこめられている。通常の雲龍図は大宇宙を表す円相の中に龍が1匹だけ描かれることが多いが、この双龍図は阿吽の龍が天井一杯に絡み合う躍動的な構図が用いられ、2匹の龍が共に協力して仏法を守る姿が表現されている。

労働組合は、1人では解決が難しい職場での悩みや困りごと等の課題をみんなで協力して解決に導く組織。一人ひとりの「少しの困った」を声にして、職場の課題解決につなげていこう。

労働組合としてWell-beingが実現される環境を整備しよう

自治労京都府本部 執行委員長　岡本　哲也

組合員のみなさんにおかれては、健やかに新年を迎えられたことをお喜び申し上げます。旧年中は自治労京都府本部に力強いご結集をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の5類への移行を受けて、府本部の取り組みもコロナ禍前とほぼ同じ規模や形式で実施するなど、注意はしながらもようやく普段の活動ができるようになってきました。その一方で、終わりの見えないロシアによるウクライナ侵攻や多くの市民が犠牲となっているパレスチナ情勢等に代表される戦争の映像が流れ、「戦争で市民の安全は守られない」ということを改めて知らされた年でもありました。一刻も早く平和が訪れることを願うとともに、長射程ミサイルなど敵基地攻撃能力の保有で重武装化にひた走る日本。私たちの国が「戦争ができる国」へと進むことを許してはなりません。

次に、2024年に目を向けますと、重要な課題として、実質賃金の改善にむけた賃金引上げと、人事院が示す「社会と公務の変化に応じた給与制度の整備」の具体化があり、本部と連携しながら春闘から秋の確定闘争での決着をめざして取り組みを進めていきます。また、昨年の人事院の報告等で示された、公務職場における「Well-beingが実現される環境の整備」は、私たち労働組合としても率先して取り組むべき課題です。組合員のみなさんの「声」を集めて「要求」とし、「健康で安心して働き続けられる、そして働き甲斐のある職場」をめざして、単組と連携して取り組みを進めます。

さらに、1月21日から始まる京都市長選挙は、府本部にとっても大変重要な選挙です。府本部は、京都市出身の元参議院議員で行政経験もあり、自治労・連合と共に2009年の政権交代を成し遂げ、内閣官房副長官などを歴任された「松井孝治」慶應義塾大学教授を推薦し、必勝をめざして取り組みを進めています。みなさんの積極的なご協力をよろしくお願いいたします。

結びとして、今年の干支は「甲辰」です。これまで誠実に積み上げてきたものが、実を結ぶ年になるそうです。さらに、辰を動物にあてはめると龍・竜で、縁起が良いと言われており、明るいニュースの多い年を予感させます。そして英語の「ドラゴン」の語源は古代ギリシャ語の「ドラコーン」で、「眼、鋭く見るもの」という意味だそうです。激動の時代と言われる今日、しっかりと本質を捉え、積み上げてきた運動を力に、要求の実現にむけて共にがんばりましょう。本年がみなさんにとって素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

※「ウェルビーイング」(well-being)とは、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念で、「幸福」と翻訳されることも多い。

視覚障害その他の理由で活字のままでこの本を利用出来ない人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等の製作をすることを認めます。その際は著作権者、または、出版社まで御連絡ください。

Jichiro Kyoto 2024 ユニオンカレッジ vol.2

私たちが働く現場の声を国会に届けよう！

岸まきこ参議院議員と意見交換

府本部は11月24日、Ｊｉｃｈｉｒｏ Ｋｙｏｔｏユニオンカレッジの第2回目の取り組みとして、国会見学ツアーを実施。各単組の若手組合員を中心に20人が参加した。参加者は朝9時30分に新幹線で京都駅を出発。農林水産省の食堂で昼食を取った後、国会議事堂に移動した。自治労組織内の岸まきこ参議院議員との意見交換や京都6区選出の山井和則衆議院議員から国会報告を聞き、現場の声を国会に届けた。

岸まきこさんから国会報告

冒頭、川戸副委員長の挨拶のあと、岸まき子参議院議員から自身の経歴や国会議員になったいきさつ、国会の現状をお話いただいた。

岸さんは役場時代の経験を踏まえ、国会の現状について「今国会では補正予算が審議されるが、コロナ禍以降バラマキ政策が慢性化している。地方自治体では緻密に予算建てするが、国と地方ではまるで違う」と述べ、「自民党政権は思い付きで政策を乱発しているが、それを受け止めて最前線で住民対応にあたるのは自治体の職員だ。国の政策は現実とかけ離れている。現場の感覚をもっと国政に生かさなければ社会は良くならない」と訴え、その後、参加者との意見交換に移った。

久御山町職
小笠原　隼さん

宇治田原町職
村上　航介さん

国保労組
廣澤　大地さん

岸まきこさんと意見交換

参加者はそれぞれ現場の状況や政治に対する思いを岸まきこ参議院議員に尋ねた。意見交換の内容は次の通り。

◆京田辺市職・堀慎一さん…国会における予算審議はどのような感じなのか。また、自治体時代と国の予算の見方の違いは？

○岸まきこ参議院議員
1つの質問に対し項目ごと異なる省庁が対応するため、事前通告、レクも含め調整に時間がかかる。中央は地方と大違いでどんぶり勘定。これには本当に驚いた。

◆八幡市職労・柏森勇人さん…岸さんはとても上手に話をされるが、何かコツはあるのか？

○岸まきこ参議院議員
難しい言葉はできるだけ使わないようにしているし、何より聞く人の立場に立って話すことを意識している。なかなかできていないのだが（笑）

◆国保労組・廣澤大地さん…安倍元首相が亡くなって以降、国政における変化は何かあったか。

○岸まきこ参議院議員
安倍元首相は力で押さえつける強権政治を展開していた結果、政治が自分たちに都合の良いように捻じ曲げられてきた。安倍さんがいなくなった後もその傾向は変わらないが、まとまりがなくなった上、みんなの意見を聞かなくなった。民主主義が行われていないと感じている。

◆ユース職組・冨田千裕さん…国における子育て世代や若者への支援はどのようになっているか。また、単組において新採などを勧誘する際のコツなどあれば教えてほしい。

○岸まきこ参議院議員
子育て支援、若者支援については、新年度予算に入っているものの、今回の補正予算には入っていない。これがこの国の現状だ。若者支援は本当に必要で、例えば「悪質ホスト問題」。若い女性がホストに貢ぎ、お金が無くなり売春などに繋がっている。山井衆議院議員も熱心に取り組んでいるが、この対策もやらなければならない。

新採勧誘については、「組合に入ったらこんな良いことがあった」という事例をあげて説明すれば、相手もイメージしやすいと思う。

◆久御山町職・小笠原隼さん…中央省庁における働き方改革は実行されているのか？

○岸まきこ参議院議員
省庁の部署によるが、全体的に国会開催時以外でも常時忙しい状況。その要因としては、内閣が突発的に政策を出してきて、それに対応しなければならないなど、ダイレクトに影響を受けていることや、残業がステータス化していたり、上司が帰らないと帰りにくい体育会系的な風潮があるため。

しかし、男性の育休取得率アップなど、「休んでよい」という感覚が浸透してるし、以前より時間外手当が支給されるようになったし、同時に時間外の勤務時間数が把握できるようになった。少しは改善してきているのではないか。

第27回参議院議員選挙
自治労組織内候補予定者

岸まきこ 参議院議員

●プロフィール
1976年 北海道岩見沢市(旧栗沢町)生まれ
1994年 旧栗沢町役場入職(現岩見沢市)
2004年 自治労北海道空知地方本部 女性部長
2011年 連合北海道空知地域協議会 副会長
2013年 自治労本部 中央執行委員
2019年 第25回参議院議員選挙で初当選

ユース職組
冨田　千裕さん

京田辺市職
堀　慎一さん

京田辺市職
藤田　大典さん

八幡市職労
柏森　勇人さん

◆京田辺市職・藤田大典さん…労組において若い組合員に政治の話が理解されにくい。組織内の岸さんや鬼木さんについてはわかってもらえても、立憲民主党を支援する必要性が理解されにくい。その点は組合員にどのように説明すればよいか？

○岸まきこ参議院議員
政党に属しているからこそ、国会で質問の機会は保障されている。野党第1党として自民党と対峙しなければ、国民にとって理不尽なことがまかり通ってしまう。例えばマイナンバーカードの保険証紐付けの問題。2024年秋に紙の保険証を廃止するとしているが、マイナンバーカード型保険証の普及率は現在約4・5%。いかにこの制度が受け入れられていないかだ。マイナンバー保険証は5年ごとに更新が必要になり、高齢者と自治体職員がその手続き、対応に直面させられる。国は責任を取らない。こんな理不尽なことは変えていかなければならない。そのために立憲民主党への支援が必要だと考える。

◆宇治田原町職・村上航介さん…私が働く宇治田原町は地域手当もなく給料が安い。若手組合員は生活が苦しい。同じ自治体職員同士で給料水準に差がある現状を是正してほしい。

○岸まきこ参議院議員
人事院において地域手当の見直しがされる予定である。給料水準を含め現場の組合員が働きやすい環境を作らなければならない。引き続き、皆さんの声を力に変え国会活動を行う。ともにがんばろう。

国会見学と参加者交流会

◆国会見学（参議院）
外観を見学後、屋内へ。本会議場や御休所（天皇の控室）、傍聴席なども見学。1936年当時、国内最高級の部材を使い建設され、中央ホールには、初代内閣総理大臣伊藤博文、自由民権運動の板垣退助、最初の政党内閣総理大臣大熊重信の銅像もあり、重厚な造りと佇まいに歴史の重みを感じた。

◆国会見学（衆議院）
続いて、衆議院に移動し、京都6区山井和則衆議院と面談。国会審議前の忙しい時間にもかかわらず国政報告を受けた。また、山井議員の取計らいで、審議前の立憲民主党代議士会を見学することができた。

マスコミが多数いる中、執行部席には京都3区選出の泉ケンタ代表や山井衆議院議員、安住国対委員長などの顔も見られ、代議士で満席の室内は国会審議前の熱気に満ちていた。

◆参加者交流会
最後は、交流会と宿泊場所となる東京グリーンパレスへ。川戸副委員長の乾杯の後、参加者全員で自己紹介を行いながら交流を深めた。

参加者からは「このような機会があればまた参加したい」「本当に貴重な経験ができた。参加してよかった」「ユニオンカレッジに興味が沸いた。ぜひユニカレに登録したい」などの意見があった。

今回の経験や意見を参考に今後の府本部の取り組みに生かしていきたい。

訪問

甲子園の歴史と名勝負を再び

「甲子園」と言えば、「高校野球」「阪神タイガース」。その甲子園は、2024年に100周年を迎えるにあたり、2022年3月に甲子園歴史館をリニューアルオープンした。

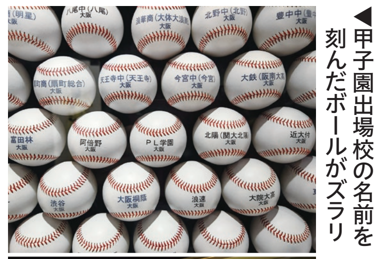
甲子園歴史館は、阪神甲子園球場の南側にある甲子園プラス2階の「PLUSエリア」と甲子園球場内にある「球場エリア」の二つに分かれている。

「PLUSエリア」では主に阪神タイガースのこれまでの歴史を集約して展示。球団創設からこれまでを8つの時代に分け、それぞれの時代に活躍した選手や名場面を写真と映像で紹介。また選手が使用していたユニフォームやグローブなどの道具類も寄贈されており、実物を見ることができる。

体験コーナーでは、VR機器を使って甲子園球場を360度体験したり、実際のドラフト会議と同じ画面の中に立ち、指名された気分を味わったりできる。昨年、日本シリーズで38年ぶりに優勝したタイガース関連資料の展示と開幕から優勝までの功績を新聞や映像で見ることができる。

「球場エリア」は、主に高校野球と甲子園球場にまつわる歴史を見るスペース。エリアに入るとひとつのボールが展示されている。これは「始まりの一球」と題されており、高校野球の第1回大会で実際に使用されたボールが飾られている。そのまま奥に進むと、甲子園を沸かせた名勝負や名シーンの数々を映像で見るコーナー。関連する資料も多数展示されている。

最後はバックスクリーンウォーク。通路を活用したこのエリアでは、これまでの高校野球で始球式をした名選手のサインボールや過去のスコアボードで使用していた手書きの選手名板などが展示されている。この通路を抜けるとスコアボードの真下に出るのだが、スコアボードの下から見渡す球場の景色は圧巻。広いグランドをバックに写真を撮ることができるのも歴史館だからこそだ。



◀甲子園出場校の名前を刻んだボールがズラリ

◀1985年の日本一を思い出させる展示も

必ず行きたいスタジアムツアー

歴史館の入場とは別にスタジアムツアーも行われている。ツアー時間は60分で、コースにもよるが、ブルペンやロッカールーム、ベンチに入ることができる。通常は入ることができない実際に選手が使用しているエリアなので、歴史館に来た際には、ぜひツアーに参加してみてほしい。

ツアー以外にもバーチャルバッティングや高校野球の歴代優勝校が刻まれた銘板が設置されている野球塔もあり、野球好きにはたまらない場所だ。

詳しくは「甲子園歴史館」公式ホームページで。

甲子園歴史館
▼所在地／兵庫県西宮市甲子園町8番15号▼アクセス／阪神電車「甲子園」駅から徒歩7分▼休館日／月曜日（試合開催日、祝日除く）、年末年始▼入場料／一般900円ほか

辰年に訪ねたい龍神さん

龍を祀る京都の神社と寺

実在しない龍が十二支の中で辰として数えられている。しかし龍は昔から縁起の良いものとされ、水神として信仰されてきた。そんな龍が祀られている京都の神社や寺を紹介する。

伏見神寳（かんだから）神社

伏見神寳（宝）神社は、伏見稲荷大社の奥社から徒歩3分ほどのところにある。伏見稲荷大社には至る所に狛狐がいるが、ここには「天龍」「地龍」という狛龍がいる。この地には二条城から続く龍脈が通っているとも言われ、強力なパワーを秘めた龍神スポットだ。

▼所在地／京都市伏見区深草笹山町15　伏見稲荷大社内

▲伏見神寳神社の狛龍

瀧尾神社

JR東福寺駅近くに建つ瀧尾神社は、仕事運向上や商売繁盛のご利益で知られる。拝殿の天井には、江戸時代後期の彫物師である九山新太郎が製作した全長8mに及ぶ龍の木彫り像が飾られている。あまりの躍動感ある姿に当時は「龍が夜な夜な水を飲みに動き出す」と恐れられたため、金網が張られたという逸話もあるほど。

▼所在地／京都市東山区本町11丁目718

▲瀧尾神社の木彫りの龍

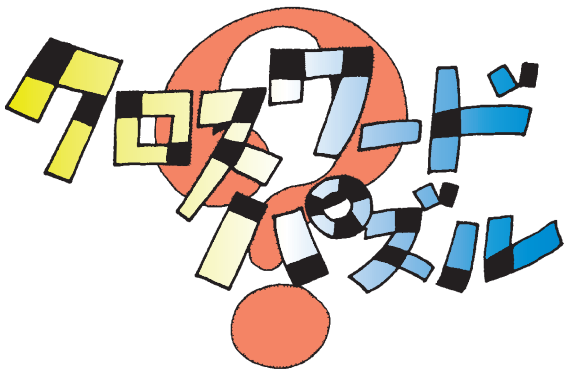
神泉苑

神泉苑は、二条城の南に位置する東寺真言宗の寺院。桓武天皇によって平安京遷都の頃に造営され、「御池通」の由来となった池を擁する。

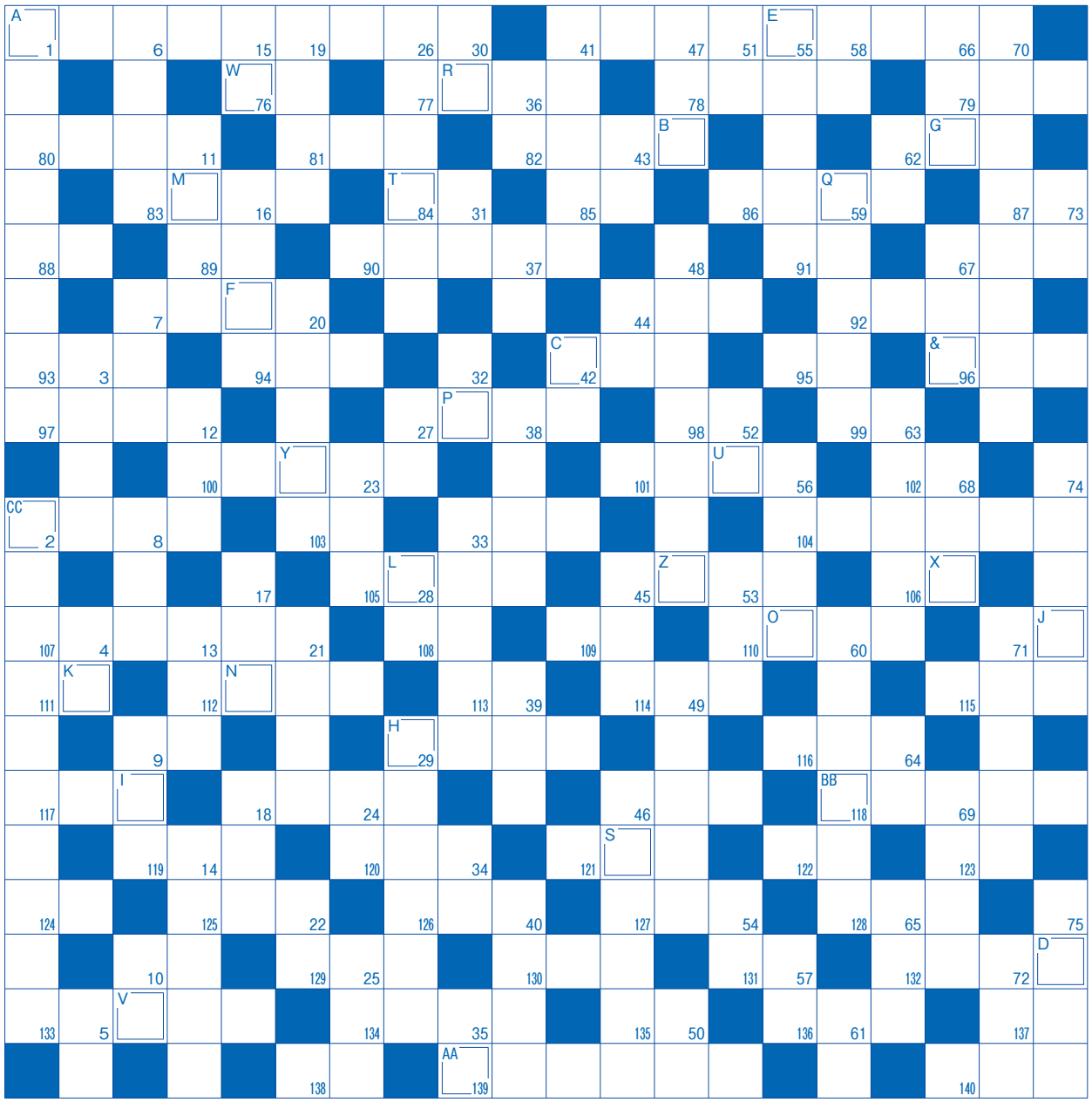
日本中が大干ばつに見舞われた時、弘法大師（空海）が善女龍王を呼び寄せて、三日間に渡り大雨を降らせたという伝承がある。それ以来神泉苑の池に龍神様が棲んでおり、どんなに日照りの日が続いても枯れることがないという。境内には願いを心に念じながら渡ると叶うという「法成橋」があり、開運スポットとしても人気だ。

▼所在地／京都市中京区御池通神泉苑町東入門前町167

▲神泉苑の池



クロスワードで頭の体操を！



〈タテのカギ〉

1 体力と精神力のすべて
2 濡れた道路走行でコントロール不能になる状態
3 いがに包まれたままの栗の実
4 めぐり合わせ・さだめ
5 ヒットエンド○○
6 雷が落ちること
7 自分自身について、はっきりと知ること
8 かたくなで自分の考えを変えないこと
9 糸瓜
10 エビで○○を釣る
11 さかずき一杯の酒
12 正体が知れず、気味が悪いこと
13 まわり道をすること
14 一戸ごとに独立して建てた家
15 親の○○をかじる
16 せめぎあう心
17 代表作は「情熱大陸」。○○○太郎
18 アフリカ原産の夏野菜。陸蓮根
19 いつも夏のようであること
20 雑草をとる作業
21 百聞は○○○○にしかず
22 ↑↓往
23 ダイヤモンド○○○
24 タフ。ナイス。
25 電子計算機の、筒状の記憶装置
26 多くの人が一致して同じ意見を言うこと
27 牛
28 物事が多方面に分かれていること
29 真昼に見る夢。非現実的な空想
30 犬、猿、○○
31 元素記号Sn
32 木を割る道具
33 湯を沸かすための機具
34 ローズ
35 春夏秋冬
36 起こることを前もって推測すること
37 木を見て○○を見ず
38 下級武士が戦でかぶった笠
39 手足の一番外側の小さい指
40 よその土地に移り住むこと
41 ファクトリー
42 加減乗○○
43 百合
44 水を多くして米をやわらかくたいたもの
45 ツナ
46 給料が上ること
47 ○○○、コサイン、タンジェント
48 降伏者から武器を取り上げること
49 ドイツ語の変母音記号
50 羊歯・歯朶
51 その物がある所
52 商売繁盛で○○持ってこい
53 深く悲しむこと。嘆息
54 髪をすく道具
55 服装や態度などきちんと整える心掛け
56 たまらなく愉快なこと
57 波立つ原因が去ってあとも残っている波
58 ブック
59 伸びたり縮んだりすること
60 大晦日に食べるソバ
61 ○○の上にも三年
62 レッド
63 領土および領海の上空
64 猪・○○・蝶
65 徳島・香川・高知・愛媛
66 状態がうつって行くこと
67 ○○○明王
68 身に余るさま
69 製品に加える装飾上の工夫
70 猪がまっすぐ突っ走るように進むこと
71 パーキング
72 水面に浮かぶためのドーナツ状のチューブ
73 帰り道
74 挽肉で作ったカツレツ
75 キャッシュ

〈ヨコのカギ〉

1 全産業にわたる同盟罷業。ゼネスト
2 物に張りつけた紙
7 その人に備わっている徳
9 家の囲いとして設けた板などの障壁
10 オクトパス
18 ミュージック
27 ↑↓彼
29 物事の影響が波のように伝わり広がること
33 湯を沸かすために使う釜
41 各国が出展し宣伝と商取引を行う市場
42 フリーダム
44 ○○○通貨
45 夜の一番ふけた時。深夜
46 雄の魚の腹にある白い塊状の精巣
62 ↑↓セーフ
67 山の下の方
71 ↑↓地上
76 キャット
77 不利益をこうむることに対する不満を伝えること
78 階段の一きざみ
79 和紙を細長く切り、よりをかけたもの
80 頼りにできるとして信ずること
81 難かしさの程度
82 物事の基礎にする標準
83 ひとまとめにして扱うこと
84 餅をつく時に用いる器
85 人が集まること
86 噺家・咄家
87 ムーン
88 ゼミナール
89 物事を行う時のキーポイント
90 力士の力が拮抗し長丁場になった取組
91 ↑↓官
92 文字を筆と墨で書く芸術
93 温度がセ氏零度以下であること
94 ラビット
95 鮎
96 ↑↓前
97 大学で医療法・予防法などを研究する学部
98 アンブレラ
99 桃・○○三年、柿八年
100 どう身を処すかの態度。進退
101 駅で乗車券などの確認を行う所
102 余った暇な時間
103 国語・算数・○○・社会
104 鳥の羽を用いた布団
105 板付蒲鉾を切って山葵・正油を添えた料理
106 ↑↓音
107 趣味の対象が同じ者が集まる会
108 液体が気体となること
109 生活のために家に備えおく道具
110 人前で演じる芸。特別な技
111 ○○より証拠
112 磁気テープなどを小さな容器に収めたもの
113 力士が行う立合いの準備運動
114 ロッテのエース・佐々木○○○
115 ↑↓入
116 御輿・神輿
117 ボルトやナットを締める道具
118 会の進行を行う人
119 放送のため音声を電気信号に変える装置
120 マーケット
121 トゥデイ
122 紫蘇
123 一定の位置から見える範囲
124 レインボー
125 氷柱
126 物事の来歴
127 富裕の古称
128 ところ。位置
129 移りうごくこと
130 自分ひとりの力。独力
131 物事のはじまり
132 グッドフォーチューン
133 発動機のない航空機
134 糖蜜に水を加え発酵させて作る強い蒸留酒
135 油や脂肪
136 五七五の十七音から成る短い詩
137 ○○一髪
138 チューイン○○
139 気がまえ。心の広さ
140 白鳥

設問文

A	B	C	D	E	F	G	H
I	J	K	L	M	N	O	P
Q	R	S	T	U	V	W	X
Y	Z	&	AA	BB	CC	?	

■AからCCまでの文字をつなげるとある設問文ができます。その設問に答えてください。

設問文に対する回答をご応募ください。正解者の中から抽選で5人の方に、5000円分の商品券をプレゼントします。

【応募方法】下記必要事項を記入の上、府本部までハガキかFAXでお送りください。
①組合員名　②単組名（支部名）③自宅住所
④設問文に対する回答
⑤自治労きょうと新年特集号の感想

◆締め切り　2024年1月31日（水）必着
◆応 募 先　〒604-0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側NHKビル2F
FAX：075-231-4918
自治労京都府本部「クロスワードパズル」係